

茨木高校野球部

OB会報

発行

大阪府立茨木高校

野球部OB会

追悼 小野俊博様

昨年12月、長年にわたってOB会事務局会計として、また、現役・学生OBの応援者として多大な力をいただいた高橋25回小野俊博さんが急逝されました。誰よりも茨高野球部を愛していた方でした。今回のOB会報には、3名の方から小野さんを偲ぶ文章を寄せていただきましたのでここに掲載するとともに、あらためてOB一同ご冥福をお祈りいたします。

小野君とのひとこと

高18回 吉田 俊彦

奥さんを亡くされてからの小野君。昨年の夏ごろから月命日が近づいてくると「飲みに行きましょう」と声をかけてくるようになった。天満の駅の近くの奥さんと懇意にされていた方のお店。そこには必ず奥さんの写真を連ねてきていた。心底、彼女を大切にしていたのだと思う。記憶は定かではないが早くに実の母親と死別したと聞いたことがある。その体験から、絆、つながりを求める人生が始まったような気がする。茨高野球部、仲間、先輩、後輩とのつながり、そして何よりも奥さんと築いた暖かい家庭を大切に

する彼の原点がそこにあった。

彼は茨木高校野球部の甲子園出場を心から願っていた。現役の諸君にお願いを。その願いのバトンを引き継いで、志高く甲子園を目指してください！小野君、君は今あの世で奥様と安らぎの毎日を送っているかもしれないね。しかし、われわれにとつて君との別れはあまりにも早すぎた。「オー、ノー」という他はない。

小野君を偲んで

高21回 池永 徹

陽春の候、OBの皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。私はフルタイムの再任用の教諭として今年とあともう1年茨木高校に勤務する予定です。さて今回は、昨年12月3日に亡くなられた小野君の思い出を書かせていただきます。

小野君が高校生の時、茨木高校に野球部を指導して下さる先生はおられませんでした。また、継続的にコーチしてくれるOBもいませんでした。それで、大学で野球部に入ってプレーしているOBが、春のリーグ戦が終わったら茨木高校に行つて指導し、夏の大会に監督としてベンチに入つていました。私が大学4年の時、夏の大会で監督をつとめるため練習を見に行く

とすぐあることに気づきました。能力の高い1年生がいます。でも補欠です。外野手で試合に出ている選手よりも、バッティング・守備ともに上です。関野主将に、あの1年生を試合に出そうと言つたと絶対にダメという返事。新チームのエースとして練習させているというのが表向きの理由でしたが、本当の理由はすぐにはわかりました。その1年生を試合に出すと、6人しかいない3年生のうちで小野君だけが試合に出ることができなくやつてしまつてからです。ライトの小野君は、バッティングはそこそこでしたが、守備はとて試合に出せるレベルではありませんでした。またレフトの2年生は、守備は良いがバッティングはサッパリでした。そこで私はこう提案しました。スタメンはライト小野君、レフトは1年生。試合の後半になれば小野君をベンチに下げ、レフトに守備の良い2年生を入れて1年生をライトにまわす。これならば小野君は必ず試合に出ることが出来ます。関野主将も了承しました。1回戦では、7番で起用した1年生がタイムリー2ベースを2本打ち、大活躍しました。9番ライトで出場した小野君は、7回裏2対2、1死2塁の場面でレフト前にヒットを打ち、後続打者のヒットで4点目のホームを踏み、8回表の守備から交代しました。直後に相手打者からライトに痛烈な打球を打ち、レフトからまわつた1年生が好捕しました。もし小野君がライトを守つていたら、捕ることができなかつただろうと私はベンチで胸をなで下ろしました。試合はそのまま4対2で勝ちました。自分は途中で引込まれたのに、チームが勝つことができた心の底から喜んでいました。小野君の姿が忘れられません。2回戦では、4月に練習試合をして

負けた相手に、なぜか打つて打つて打ちまくって、10対0、5回コールドで勝利を収めました。そのチームがそれまでに見せたことのないバッティングで、14年ぶりに3回戦進出を果たしました。

それから26年の時が過ぎ1998年1月に、私の要請を受けて小野君は茨木高校野球部OB会の会計に就任してくれました。就任するやいなや精力的に動きまわり、OBからたくさんのお金と寄付を集めたとき、前任者の私が会計をしていたときの2倍ほどの金額でした。その6年後に私が茨木高校に転動して監督になったとき、お金のことは心配いりませんでした。

小野君がOBからたくさんお金を集めてくれたからです。ところが、そんな小野君に不幸が訪れました。3年前に奥さんをガンで亡くされました。小野君には子供がいないので、「一人ぼっちになつてしまいました。その上、小野君が勤務していた会社が昨年倒産してしまいました。小野君が元気をなくすことばかりが起こり、茨高の野球部を応援することが小野君にとつて唯の楽しみ、ほとんど生き甲斐になっていました。昨年11月24日、茨木高校の2013年最後の練習試合にも、小野君は堺市にある鳳高校まで駆けつけて応援してくれました。その時、大先輩の吉川さんと来年もまた一緒に茨高の野球部を応援しようとするので帰りました。でも、約束を守ることはできなくなつてしまいました。大先輩との約束を破るなんてけしからぬ奴です。

人間が突然死する場合、心臓が止まるか窒息する。たいていこのどちらかです。小野君の場合は後者でした。肺に影が映っているから精密検査を受けるようにと医者から言われてい

ました。でも小野君はほつたらかしくしてしまいました。亡くなつてからわかつたことですが、肺にウミがたまつていました。それが原因で呼吸困難になり、突然死してしまつたと考えられます。発見されたとき、テレビはついていたままでした。小野君は早く奥さんの元へ行きたがつていたと思えてなりません。そして、急いで行つてしまいました。もう少し茨高野球部を応援して欲しかったと思います。

ご冥福をお祈りいたします。

小野俊博君を偲ぶ

高25回同期 関野武良

拝啓 オノちゃん

俺たちが巡り合ったのはもう45年前か。長いもんだ。あんたは、よう辛抱して3年までやつたよね。夏の大会は1・2回戦と先発9番ライトでトータル6打数1安打0打点、3回戦は代打で1打数無安打。池永監督も思い切つて出場させてくれたよね。しつかりと有終の美を飾れたし、守備途中交代の時、観客席に手を振つてベンチに凱旋したよね。みんなビックリしたぜ。みんな嬉しかったぜ、大喜びだった。オノちゃん、努力が報われたなあ。あんたの人生苦勞が多かつたけど、目一杯愛した典子奥さん、本気で支え続けた茨高野球部OB会と現役達。素晴らしい勲章。いつまでも俺たちは忘れんよ。

俺たち同期・・・1番(投)関野武良・2番(中)松下誠夫・4番(二)柴田俊宏・5番(捕)広野雅男・6番(一)広瀬吉孝として佐藤慶子マネージャー「9番ライト 小野俊博 背番号9」

敬具